



**株式会社 トーコン**

**あんぜんプロジェクト**

**物損事故・対策案経過チェックシート**

# 物損事故・対策案経過シート

## 【物損事故・対策案経過シートとは】

- **事故が起きた時に教訓とすることを目的としたチェックシート**

弊社では人身事故を防ぐ事を目的とした「リスクアセスメントシート」を活用していた。安全活動を会社で進めていく上でそれと同様の物損事故に対して使用できる記入シートが、必要でないかと意見が挙がり、シートの作成を始めた。

## 【シートが生み出す“見える化”】

- 物損事故例をシートに記入し、原因の洗い出しを行い状況を「見える化」する。
- 洗い出した原因に対しての対策案をシートに記入し、原因と対策の比較を「見える化」する。
- シートの対策案経過欄を記入し、経過を追うことで対策案が良か否かを「見える化」する。
- 対策案経過記入期間**(3ヶ月)**は現場に掲示し、管理者だけでなく現場の作業者にも、原因の「見える化」を情報として浸透させる。

# 物損事故・対策案経過シート

## 【目的】

リスクアセスメントに関するバードの法則(ハインリッヒの法則)(1件の重大事故には、10件の傷害事故・30件の物損・600件のヒヤリハットが発生しているという考え。右下に詳細図あり。)を基に、死亡・傷害事故を未然に防ぐため、その前段階に当てはまる、「物損事故」を**減少させよう**という目標を立てた。

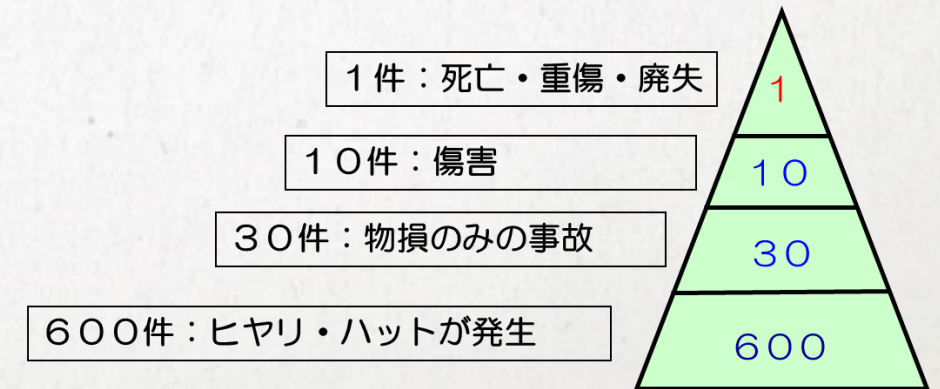
そこで発生した事故や過去の事例から、2点を中心に「見える化」を図った。

- 事故はどのような「理由」により起きてしまったのか。どのような「側面(環境や行動面など)」が事故の背景に存在したか。

⇒**原因の洗い出し**状況を「見える化」させたいと考えた。

- 実施した対策案が「**数カ月経って効果が表れているか**」、期間中「**変更を行ったか**」など、経過の「見える化」を図ることで、事故を振り返るきっかけとなり、注意をする意識が働くと考え、シート内に組み込んだ。

## 【バードの法則・(ハインリッヒの法則)】



【物損事故・対策経過チェックシート】

職場名	記入月日(開始月日)	当事者(事故者)/事故調査者(シート記入責任者)	作業名

①管理面②行動面③環境面  
詳細説明は下記にあり  
下記の考え方で記入をしましょう

①と②の対策は必須

いつ どこで 誰が 何を どうして どうなった When Where Who What How Result	写真欄 Photo	なぜなぜ分析 (別紙の場合は添付有など記入) Why-Why Analysis	①管理 ②行動 ③環境面での 原因分析(原因分け) Analyze in views of ①Mgmt ②Action ③Environment	①②③への対策考案欄 Measures for ①②③	対策実施内容 (実施日) Details and dates of the measures	対策実施写真欄 Photos of the measures
いつ どこで 誰が? / When Where Who ?		添付有	2	①管理 Mgmt ● 運転技量の見極め不足 十分な力量の持ち主か ● 危険パレットの周知不足 ● 危険な作業への対処 口頭での教育のみ	① 対策案 1.力量の確認を行い、足りていない者は運転禁止とする 2.危険パレットを洗い出し、周知、教育・資料の作成、現場保管 3.ツメにマーキングを行い、目安とする(差し加減の見える化)	案はすべて実施 ①-1 2014/●/● ①-2 2014/●/● ①-3 2014/●/● ②-1 2014/●/● ②-2 2014/●/● ③-1 2014/●/● ③-2 2014/●/●
何を どうしたら? / What How ?						
検品場へ移動しようと、フォークリフトで持ち上げたら						
どうなった? / Result ?						
奥の部品入りパレットにツメを引っかけてしまい、倒してしまった						

①管理面:知識・技能・経験による力量(腕前)があると認められた人に、管理者は仕事をさせていたか?指導なども充分に行っていたか?  
 ②行動面:自覚をもって仕事していた(と思われる)か? 例:急いでいた・焦っていた・所定の動作を無視した・予測できなかった・思い込んでしまっていた等  
 ③環境面:使用していたもの(フォークリフト・工具類等)に不具合や、作業場に日常と異なっている事(作業スペースの狭さ・暗さ、凸凹等の路面状況の変化)はなかったか?

【上段記入後】実施結果経過メモ⇒実施内容が実際に正常に行えているかチェックやメモをお書きください

対策内容 経過期間中  異常・不具合など 発生・変更した時には  日付・内容を 記入していきましょう	1ヶ月目 	2ヶ月目 	3ヶ月目 	
	3			

なぜなぜ分析 日付：2014.●.● テーマ：							
	なぜ1	なぜ2	なぜ3	なぜ4	なぜ5(真の原因)	なぜ6(真の原因)	なぜ7(真の原因)
発生	①作業者の運転技量を気にしていなかった ②危険パレットを扱う作業員に対して配慮をしていなかった ③危険な作業への対処は行っていたが認識確認不足 ④パレットを一旦手前に引いた後、運搬のために差し直した際に(2度差し)爪が後方のパレットに差し込まれてしまった ⑤スムーズに作業を行おうとした ⑥先持ちによる爪の差し加減が甘かった ⑦受入場(屋外)はかなりの傾斜、凹凸があった	①運転技量の確認不足。 ②危険パレットの周知不足 ③口頭での教育のみだった ④パレットが密着している事に気がつかなかった ⑤地切りの速度を勢いよくおこなった ⑥爪の差し加減の目測をあやまった。差し過ぎてしまった	④引かかる事を予測していなかった	④納入荷姿の確認不足			
流出							
備考							


**【物損事故・対策案経過シート】**

4ページ目 赤枠部分解説

- ①状況分析
- ②原因分析仕分け(管理・行動・環境の3面で検討する)
- ③対策案経過状況チェック部分(3ヶ月間での状況変化の記入欄)

5ページ目 赤枠部分解説

(なぜなぜ分析用シート)

- ①発生・流失で原因分析
- ②4M+1E(人・機械・方法・材料・環境)の考え方による事故原因一例集
- ③原因・対策のまとめ欄

**4M+1E(事故原因)の考え方 一例**

	健康状態(怪我・睡眠不足など)	判断基準にズレがないか	引継ぎは正確に出来ていたか
人			
機械	設定条件は正しいか	設備定期点検を実施しているか	機械不具合はないか
方法	修理依頼をしていたか	正しい状況の元で使用していたか	安全装置をONにしていたか
材料	コントロールプランには記載があるか	作業標準(QCポイント)はあるか	作業手順が明確になっているか
環境	作業計画に無理がなかったか	作業人員が足りていたか	十分な作業連絡を行っていたか
	ライン投入履歴は把握しているか	材料の識別は適切か	材料に何らかのばらつきが発生していないか
	材料の納品に遅れはなかったか	異なる材料の使い方をしていたか	材料に製品・異品が入っていないか
	風雨の中での作業	天災(地震・雷・台風)	照明が足りていたか
	暑さや湿度	騒音や振動があった	夜間作業であった
			停電
			油漏れなどないか

**原因と対策 まとめ**

真の原因		区分	NO.
運転技量の確認不足	管理	①	
危険パレットの周知不足	管理	②	
口頭での教育のみだった	管理	③	
納入荷姿の確認不足	行動	④	
地切りの速度を勢いよくおこなった	行動	⑤	
爪の差し加減の目測をあやまった。差し過ぎてしまった	行動	⑥	
受入場(屋外)はかなりの傾斜、凹凸があった	環境	⑦	


 真の原因を見つけ  
チェックシートに  
記入ください